

学校教育目標

すべての子どもが楽しい学校

目指すみのわっ子像

みらいを創る子

豊かなかかわりを通して、夢や希望をもち、自分の力で進んでいく子を育てます。
(公) (開) (体)

のびる 高める子

いろいろなことに興味をもち試行錯誤を繰り返して探求する子を育てます。(知)

わかちあい 認め合える子

多様な考えを受け入れながら、仲間と感動を素直にわかち合える子を育てます。(徳)

基本となる方向性

1

学校の文化を作る年から
箕輪小らしさを打ち出せる年へ

- ・ピンチをチャンスに変える風土の更なる浸透
- ・大規模校化をポジティブにとらえて活気溢れる学校へ
- ・教育慣行に囚われずコロナの経験を生かす柔軟性

2
心

(全方位的な心身のケア)

- ・ホッとスルールの創設 (誰一人取り残さない学校へ)
- ・学びあいを大切にした授業づくりと授業を通じた人間関係作り
- ・子どもの思いや願いが実現する学級・学校

3

未然防止の徹底
一人を徹底して大事にする児童指導

- ・困っている子に寄り添う体制作り
- ・一手間、一足、一声が未然防止の第一歩
- ・教科分担制とチーム箕輪、チーム学年経経営
- ・特別支援教育についての理解促進と浸透

家庭

閉じずに開く学校へ

保護者の学習参加・ボランティアの促進
情報発信の工夫改善

地域

学校発信の地域交流を

地域の材の発掘
心が通う温かい交流の実現

関係機関・企業連系

専門性・先進性を取り入れた
教育環境の創造

多様性社会の実現
SDGs
本物に触れる・本物から学ぶ

2022 MINOWA DESIGN

すべての子どもが楽しい学校

子どもの思いや
願いが
実現する学校へ



Well-being

子どもの思いや
願いから
活動を創り

教職員

教職員のゆとりと笑顔が
豊かな教育の原点

自主性を尊重し自律した教職員
チーム学年経営とチーム箕輪
働き方改革・業務負担軽減を躊躇なく実行

教育課程

コロナ禍での気付きや
工夫を生かした
教育課程の編成

みのわっ子タイムと交流

活躍する機会と場所作り（自己有用感）

特別支援教育

誰一人取り残さない
居場所・空間づくり

校内フリースクール
全職員で個別支援学級を
合理的配慮が優先

学習

授業を通して
豊かな人間関係作り

教え合い
協働的な学びの推進

児童指導

未然防止
と
徹底して一人を大事にする

一手間・一足・一声
困った子ではなく困っている子
教科分担とチーム学年経営

地域連携

- ・地域の方との温かい交流
- ・学校外施設の活用

機関連携

- ・スクールソーシャルワーカー
スクールカウンセラーとの連携
- ・教育委員会からの助言

保護者連携

- ・保護者も一緒に考え
保護者もホッとする場所へ

校内フリースクール構想

あたたかい雰囲気 ホットする場所

ホッとすルーム

徹底して一人を大事にする児童指導
誰一人取り残さない居場所・空間づくり

地域の人が見守ってくれるので安心

学校には行きたいけど、教室で過ごすのがとても不安



ここにいるとちょっと頑張れそうな気持ちになる

苦手なことがあって不安

- ・みんな違ってみんないい場所
- ・自分らしさが発揮できる場所
- ・その子に合わせた活動ができる場所

個別最適化

- ・自分で計画、自分のペースで
を大事にする
- ・学生ボランティアの協力

ICT活用

- ・オンライン授業・面談
- ・ゲームでコミュニケーション
- ・プログラミングなど

快適な空間レイアウト

- ・温かみのある環境づくり
- ・効果的な備品、用具の購入
- ・旧PCルームの改装

全方位的な心のケア

地域人材

学校・地域コーディネーター
民生委員・主任児童委員

ボランティア

見守り隊



子どもの心・メンタルケアを核に
連携強化を目指す



市教委
区役所
警察
児童相談所
療育



SSW: スクールソーシャルワーカー
SC: スクールカウンセラー

情報発信と共有